SEBASTIAN MALLABY

LONDON SPEAKER BUREAU

- **Author of bestseller The Man Who Knew: The Life & Times of Alan Greenspan**

Topics

- Environment
- Society

Sebastian Mallabyは、Paul A. Volckerの外交問題評議会国際経済学シニアフェローです。

Mallabyは、5年間の研究と元連邦準備制度理事長への無制限のアクセスを経て、Alan Greenspanに関する著名な本を書いた。彼の以前の著書、「神よりも多くのお金：ヘッジファンドと新しいエリートの創出」は、New York Timesのコラムニスト David Brooksによって「すばらしい」と説明されています。それは2011年ローブ賞、FT /ゴールドマンサックス賞のファイナリスト、そしてニューヨークタイムズのベストセラーの受賞者でした Mallabyの以前の本はThe World's Bankerで、New York Timesによって「編集者の選択」と名付けられたJames Wolfensohnのもとでの世界銀行の肖像画です。アフターアパルトヘイトは、ニューヨークタイムズ紙によって「著名な本」として名付けられました。

1999年にワシントンポストに入社する前は、マラビーは13年間エコノミストと過ごしました。エコノミスト在職中に、彼は外交政策と国際金融について書いた。彼はまた、ネルソンマンデラの釈放とアパルトヘイトの崩壊、そして日本の政治的および経済的合意の破綻についても取り上げました。 1997年から99年にかけて、マラビーはエコノミストのワシントン支局長を務め、アメリカの政治と外交政策についての雑誌の週刊レキシントンのコラムを書いた。彼は2度のピューリッツァー賞のファイナリストです。1回はダルフールの社説、もう1回は経済的不平等に関するシリーズです。

2015年に、彼はイギリスで欧州連合に留まるという事実に基づく訴訟を起こしているスタートアップ InFacts.orgを見つけました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988